

おほるもり 大蠨蝶 ..... 三十五  
 おしどり 鴛鴦 ..... 三十五  
 おほかみ 狼 ..... 三十五  
 おはくろとんぼ 鐵漿蜻蛉 ..... 三十六  
 かの部  
 かぎめ 蟪蛄 ..... 三十六  
 からす 慈鳥 ..... 三十六  
 かます 核魚 ..... 三十六  
 かいじう 海獸 ..... 三十七  
 かに 蟹 ..... 三十七  
 か 蚊 ..... 三十七  
 かみきりむし ..... 三十七

かも 鳧 ..... 三十七  
 かささぎ 鶺鴒 ..... 三十八  
 かひめんどうぶつ 海綿動物 ..... 三十八  
 かたつむり 蝸牛 ..... 三十九  
 かわせみ 魚狗 ..... 三十九  
 かき 牡蠣 ..... 三十九  
 かひこ 蠶 ..... 三十九  
 かひこのてう 蠶蛾 ..... 四十  
 かぶとかに 鱧魚 ..... 四十  
 かはねづみ 水鼠 ..... 四十  
 かはをそ 水獺 ..... 四十  
 かいりぞく 海狸族 ..... 四十一



かいぎう	海牛	四十一
かんがるう	更格廬	四十一
かつを	鯉魚	四十一
かんせうほう	間生法	四十二
かものほし	鴨嘴獸	四十二
がくぎよるい	鰐魚類	四十二
かもしか	羚羊	四十三
かれいぞく	比目魚族	四十三
かいせうるい	海鞘類	四十三
かいば	海馬	四十三
かいけいるい	介形類	四十三
かつかうどり	郭公鳥	四十四

かなりや	四十四	
からりんるゐ	硬鱗類	四十四
かうこつるゐ	硬骨類	四十四
かけろう	蜉蝣	四十四
かひつむり	四十四	四十四
がらんてう	四十四	四十四
かひめんるゐ	海綿類	四十四
かめるゐ	龜類	四十五
かひぎうるゐ	海牛類	四十五
かまきり	螳螂	四十五
かり	雁	四十五
かめ	龜	四十六



かむし	架蟲	.....	四十六
かはげら	石蜻蛉	.....	四十六
かとんぼ	蚊蜻蛉	.....	四十六
かめれを	避役	.....	四十七
かつをのえぼし		.....	四十七
からすがひ		.....	四十七
かなかしら	金頭	.....	四十七
かいろうどうけつ	偕老同穴	.....	四十七
きの部			
きんけい	錦鶏	.....	四十七
きばしり		.....	四十八
きうい		.....	四十八

きのう	氣囊	.....	四十八
きりん	麒麟	.....	四十八
きんこ	光參	.....	四十八
きんぎよ	金魚	.....	四十八
きす	鱧	.....	四十八
きつね	狐	.....	四十九
きじ	雉	.....	四十九
きりぎりす	蝻斯	.....	四十九
きやうかうるゐ	胸甲類	.....	四十九
きうちうるゐ	吸蟲類	.....	四十九
ぎよるゐ	魚類	.....	四十九
きくわん	器官	.....	五十一



きんそしき 筋組織 ..... 五十一  
 けつしるゐ 齧齒類 ..... 五十一  
 きじばと 雉鳩 ..... 五十一  
 きつゝき 啄木鳥 ..... 五十一  
 ぎこうるゐ 擬猴類 ..... 五十二  
 きているゐ 奇蹄類 ..... 五十二

くの部

くま 熊 ..... 五十二  
 くまたか 熊鷹 ..... 五十二  
 くもるゐ 蜘蛛類 ..... 五十二  
 くわいちう 蛔蟲 ..... 五十三  
 くわんちうるゐ 環蟲類 ..... 五十三

くわちうる 渦蟲類 ..... 五十三  
 くもひとでるゐ 陽遂足類 ..... 五十四  
 くつそくるゐ 掘足類 ..... 五十四  
 くさがめ ..... 五十四  
 ぐうているゐ 偶蹄類 ..... 五十四  
 くぢらるゐ 鯨類 ..... 五十四  
 くるまえび 車蝦 ..... 五十五  
 くださんご 管珊瑚 ..... 五十五  
 くもひとで 陽遂足 ..... 五十五  
 くらだい 黒鯛 ..... 五十五  
 くらつむぎ 鸚鵡 ..... 五十六  
 くさかけろう 咬蜻蛉 ..... 五十六



くぢら 鯨……………五十六

くひな 秧鶏……………五十六

くびきりばつた……………五十六

くらげ 海月……………五十六

くじやく 孔雀……………五十七

け の 部

けつそしき 結組織……………五十七

けいたいいがく 形態學……………五十七

げんごろらうむし 源五郎蟲……………五十七

げんせいどうぶつ 原生動物……………五十七

げんちう 原蟲……………五十七

げんごろう 龍龜……………五十八

けら 蛞蝓……………五十八

こ の 部

こひ 鯉……………五十八

こうづる 鶴……………五十八

こくそう 米蟲……………五十九

こかひ 沙蠶……………五十九

ころざめ 鯨魚……………五十九

こまどり 駒鳥……………五十九

こち 山嘯魚……………五十九

こばんいただき 咽機鰻魚……………六十

こちにゝる 蟲……………六十

こをひむし 膠皮蟲……………六十



こつどりんが 果採蛾 ..... 六十  
 こみづむし 小水蟲又は風船蟲 ..... 六十  
 こみかつぎ ..... 六十  
 こうしるい 甲翹類 ..... 六十一  
 こうこくるゐ 甲殼類 ..... 六十一  
 こんちうるゐ 昆蟲類 ..... 六十二  
 こうちうどうぶつ 腔腸動物 ..... 六十二  
 こきうき 呼吸器 ..... 六十三  
 こんそくちうるゐ 根足蟲類 ..... 六十三  
 ことうぶつがく 古動物學 ..... 六十三  
 こかねむし ..... 六十三  
 こうさいるゐ 後鰓類 ..... 六十三

こうづるゐ 鶴類 ..... 六十三

さ の 部

さんご 珊瑚 ..... 六十四  
 さなだむし 繸蟲 ..... 六十四  
 さそり 金蠟 ..... 六十五  
 さなぎ 蛹 ..... 六十五  
 さりかに 刺蝟 ..... 六十五  
 さけ 鮭 ..... 六十六  
 さより 鱒魚 ..... 六十六  
 さんしようを 鯨魚 ..... 六十六  
 さざえ 榮螺 ..... 六十六  
 さそりもどき ..... 六十六



さめるる 鮫類 ..... 六十七  
 さんごるる 珊瑚類 ..... 六十七  
 さるるる 猴類 ..... 六十七  
 さいばう 細胞 ..... 六十七  
 さい 犀 ..... 六十八  
 し の 部 .....  
 しか 鹿 ..... 六十八  
 しぎ 鶴鳴 ..... 六十八  
 しよくちうるる 食蟲類 ..... 六十八  
 しさいるる 四脚類 ..... 六十九  
 しやうきんるる 涉禽類 ..... 六十九  
 しじみてふ 小灰蝶 ..... 六十九

しじみ 蜆 ..... 六十九  
 じやこうしか 麝 ..... 六十九  
 しよくにくるる 食肉類 ..... 七十  
 しんけいそしき 神經組織 ..... 七十  
 しんけいけい 神經系 ..... 七十  
 しょうしよくき 消食器 ..... 七十  
 じゆんくわんけい 循環系 ..... 七十一  
 じうよちうるる 絛蟲類 ..... 七十一  
 しよくもうるる 食毛類 ..... 七十一  
 しびれゑい ..... 七十一  
 しやうしるる 鞘翅類 ..... 七十一  
 しらすぎ 白鷺 ..... 七十一



しらうを 白魚……………七十二  
 しいら 勒魚……………七十二  
 しようじよう 猩々……………七十二  
 すの部  
 すゞめ 雀……………七十二  
 すいさんるゐ 水類禽……………七十三  
 すつぽん 鼈……………七十三  
 すいぎう 水牛……………七十三  
 せの部  
 せんざんこう 鯨……………七十三  
 せきれい 鵲……………七十四  
 せきつゐどうぶつ 脊椎動物……………七十四

せきくわく 尺蠖……………七十六  
 せんけいどうぶつ 蠕形動物……………七十六  
 せいしよくさ 生殖器……………七十六  
 せんもちうるゐ 纖毛蟲類……………七十六  
 せいくわつぶつしつ 生活物質……………七十七  
 せんきうるゐ 前尻類……………七十七  
 せんちうるゐ 線蟲類……………七十七  
 せつかうるゐ 節甲類……………七十七  
 せつこうるゐ 切甲類……………七十七  
 せつそくどうぶつ 節足動物……………七十八  
 せきさくどうぶつ 脊索動物……………七十八  
 せんさいるゐ 前鰓類……………七十八



せいろう 海象……………七十九  
 せつちう 舌蟲……………七十九  
 その部  
 どう 象……………七十九  
 どうりむし 草履蟲……………八十  
 そしき 組織……………八十  
 そうしるゐ 雙刺類……………八十  
 そうきんるゐ 走禽類……………八十  
 たの部  
 たぬき 狸……………八十  
 たまむし 玉蟲……………八十  
 たそくるゐ 多足類……………八十一

たんびるゐ 彈尾類……………八十一  
 たいちうるゐ 苔蟲類……………八十一  
 たんちうるゐ 單柱類……………八十一  
 たんよくるゐ 短翼類……………八十一  
 たまはへ 玉蠅……………八十二  
 たがめ 田鼈……………八十二  
 たいこうち 太鼓打蟲……………八十二  
 たつのをとしむ 龍馬……………八十二  
 たら 大口魚……………八十二  
 たちうを 帶魚……………八十三  
 たいまい 瑇瑁……………八十三  
 たこ 章魚……………八十三  
 たこぶね 缸魚……………八十四



たにし 田螺……………八十四  
 たからがひ 貝子……………八十四  
 たいらぎ 玉珮……………八十四  
 だちやう 駝鳥……………八十四  
 ちの部  
 ぢうわんるゐ 十腕類……………八十五  
 ちよくしるゐ 直翅類……………八十五  
 ちうちうるゐ 細蟲類……………八十五  
 ちやうびるゐ 長鼻類……………八十五  
 ちやうよくるゐ 長翼類……………八十六  
 ちやほどり 矯鶏……………八十六  
 ちん 狎……………八十六  
 ちん 鳩……………八十六

つ の 部

つる 鶴……………八十六  
 つらねこ 鼯鼠……………八十七  
 つばめ 燕……………八十七  
 つちがへる 土蛙……………八十七  
 ての部  
 てん 黃鼯……………八十七  
 てふぶめ 蝶鮫……………八十七  
 てうるゐ 鳥類……………八十八  
 てづるもづる……………八十九  
 てんとらむし 瓢蟲……………八十九  
 てんまくむし……………八十九



てながざる 手長猴 ..... 九十

この部

とうそくるる 頭足類 ..... 九十

とかげるる 蜥蜴類 ..... 九十

とうちうるる 同柱類 ..... 九十

どうぶつぶんるゐたいべつ 動物分類大別 ..... 九十一

どうしよくぶつのくべつ 動植物の區別 ..... 九十一

どうぶつちがく 動物地學 ..... 九十一

どうぶつけいとうがく 動物系統學 ..... 九十一

どうぶつがくのはんる 動物學の範圍 ..... 九十二

とび 鳶 ..... 九十二

とら 虎 ..... 九十二

どぶがひ 蚪 ..... 九十二

とりがひ 鳥蛤 ..... 九十二

とんぼ 蜻蛉 ..... 九十三

となかひ 馴鹿 ..... 九十三

とこぶし 鰻魚 ..... 九十三

どでよう 泥鰌、又鰻 ..... 九十三

とかげ 石龍子 ..... 九十四

とびらを 文鯨魚 ..... 九十四

とのさまかへる 金線蛙 ..... 九十四

とらぶねすみ 花金鼠 ..... 九十四

とげうを 棘鱗魚 ..... 九十五

な の 部



- なまこ 沙鯢……………九十五
- なんたいいどうぶつ 軟體動物……………九十五
- なんこつるる 軟骨類……………九十六
- なまこるる 沙鯢類……………九十六
- なめくぢ 蛞蝓……………九十六
- なまけもの 樹懶……………九十六
- なめかぎめ 慰斗鯨……………九十七
- に の 部
- にしきへび 錦蛇……………九十七
- にさいるる 二鰓類……………九十七
- にはとりるる 鶉鷄類……………九十七
- にはとり 家鷄……………九十八

- にしん 青魚……………九十八
- にべ 鮓……………九十八
- ぬ の 部
- ぬえ 鵪鶉……………九十九
- ぬ の 部
- ぬんしるる 撚翅類……………九十九
- ぬすみ 鼠……………九十九
- ぬこ 猫……………九十九
- ぬこぎめ 虎頭鯨……………九十九
- の の 部
- のみ 蚤……………百
- のこぎりぎめ 鋸鯨……………百



はの部

はりねずみ 猬……………百  
 はとるゐ 鳩鴿類……………百一  
 はやぶさ 隼……………百一  
 はせ 蝦虎魚……………百一  
 はりがねむし 鐵線蟲……………百一  
 はんすうるゐ 反芻類……………百一  
 はいぎよるゐ 肺魚類……………百二  
 はりせんぼん 蝟……………百三  
 はなせせり……………百三  
 はいとりくも 蠅取蜘蛛……………百三  
 はちうるゐ 爬蟲類……………百三

はちわんるゐ 八腕類……………百四  
 はうしちうるゐ 孢子蟲類……………百四  
 はいどら……………百五  
 はも 海鰻鱺……………百五  
 はぶ 飯匙……………百五  
 はつかねずみ 鼯鼠……………百六  
 は 齒……………百六  
 はまぐり 文蛤……………百六  
 はくちよう 鶉……………百六  
 はひ 蠅……………百六  
 ばく 獾……………百七  
 はらめーしあむ……………百七



はんもくるゐ 攀木類 ..... 百七  
 はくさいゐるゐ 薄鰓類 ..... 百七  
 はと 鳩 ..... 百八  
 はち 蜂 ..... 百八  
 はまきむし 葉捲蟲 ..... 百九  
 はほりむし 葉掘蟲 ..... 百九  
 ばつた 飛蝗 ..... 百十  
 はんめう 斑猫 ..... 百十  
 はくむし ..... 百十  
 はりしつかいめん 玻璃質海綿 ..... 百十  
 はつしやるゐ 八射類 ..... 百十一  
 はつせいがかく 發生學 ..... 百十一

はんさいゐるゐ 板鰓類 ..... 百十一

ひの部

ひきがへるぞく 蟾蜍族 ..... 百十一  
 ひせんのむし 疥癬蟲 ..... 百十二  
 ひれんとやく ..... 百十二  
 びろくぞく 麋鹿族 ..... 百十二  
 ひらめ 比目魚 ..... 百十二  
 ひとでゐるゐ 海盤車類 ..... 百十二  
 びしるゐ 微翅類 ..... 百十三  
 ひるゐるゐ 蛭類 ..... 百十三  
 ひにようき 泌尿器 ..... 百十四  
 ひふ 皮膚 ..... 百十四



ひまくそしき 皮膚組織 ..... 百十四

びば ..... 百十四

ひんしるゐ 齒貧類 ..... 百十四

ひやう 豹 ..... 百十四

ひりう 飛龍 ..... 百十五

ひごひ 金鯉 ..... 百十五

ひひ 狒々 ..... 百十五

ひよどり 鶉白頭翁 ..... 百十五

ひばかり 熇尾蛇 ..... 百十五

ひくひどり 食火鶏 ..... 百十五

ひつじ 綿羊 ..... 百十五

ひる 水蛭 ..... 百十六

ひばり 天鵝 ..... 百十六

ひどら ..... 百十六

ひめあかたては 姬赤立羽蝶 ..... 百十六

ひしばつた 菱羽蝗 ..... 百十六

ひじつるゐ 避日類 ..... 百十七

ひさくどうぶつ 尾索動物 ..... 百十七

ふの部

ふゆ 蛎 ..... 百十八

ふくそくるゐ 腹足類 ..... 百十八

ふるとぶてるす ..... 百十八

ふくさいばうどうぶつ 複細胞動物 ..... 百十九

ぶらなりや ..... 百二十



ふみとり	文鳥	.....	百二十
ふくろねずみ	袋鼠	.....	百二十
ふくろろう	梟鴞	.....	百二十一
ふた	豚	.....	百二十一
ふな	鮒	.....	百二十一
ふぐ	河豚	.....	百二十一
ぶり	鱒	.....	百二十一
ふうちよう	霧鳥	.....	百二十一
ふせいかいたんるゐ	不正海膽類	.....	百二十一
ぶんれつさう	分裂球	.....	百二十一
へ の 部			
へきえき	避役	.....	百二十二

へきひつるゐ	壁蝨類	.....	百二十二
べんさいるゐ	辨鰓類	.....	百二十三
へんちうるゐ	扁蟲類	.....	百二十三
へびるゐ	蛇類	.....	百二十三
べんもうちうるゐ	鞭毛蟲類	.....	百二十四
べら	遍羅	.....	百二十四
へらさぎ	篋鷺	.....	百二十四
へんけいるゐ	變形類	.....	百二十五
ぺんぐいん		.....	百二十五
ほ の 部			
ほたてかひ	海扇	.....	百二十五
ほうふら	子子	.....	百二十五



ぼうしどうぶつ 芒刺動物 ..... 百二十六

ほととぎすするゐ 杜鵑類 ..... 百二十八

ほね 骨 ..... 百二十八

ほにうるゐ 哺乳類 ..... 百二十九

ほたる 螢 ..... 百三十

ほしひとでるゐ 星海艦車類 ..... 百三十

ほつすがひ ..... 百三十

ほごしよく 保護色 ..... 百三十

ほや 老海鼠 ..... 百三十一

ほほづきがひ 酸醬貝 ..... 百三十一

ほうぼう 糸娘魚 ..... 百三十一

ほらがひ 梭尾螺 ..... 百三十一

ほほじろ 畫眉鳥 ..... 百三十一

ほうじやく 峰雀 ..... 百三十二

ほへざる 吼猴 ..... 百三十二

ほととぎす 鶉杜 ..... 百三十二

まの部

まんじうがひ ..... 百三十二

まきかひ 巻貝 ..... 百三十二

まんぼう 翻車魚 ..... 百三十三

まだい 棘鬘 ..... 百三十三

まんむうと ..... 百三十四

まごたろうむし 孫太郎蟲 ..... 百三十四

まんそくるゐ 蔓足類 ..... 百三十四

まつもむし ..... 百三十四



まむし 蝮蛇	百三十五
まくそくるゐ 膜足類	百三十五
まくしるゐ 膜翅類	百三十五
まだらうま 斑驢	百三十五
まつかさうを 草枝魚	百三十五
まち 竹煙	百三十五
みの部	
みのむし 避債蟲	百三十六
みやくしるゐ 脉翅類	百三十六
みじんこ	百三十七
みづくらげ 水水母	百三十七
みつばち 蜜蜂	百三十七

みちをしへ 斑蝥	百三十八
みづきはむし 水際蟲	百三十九
みづすまし 鼓豆蟲	百三十九
みやこどり 都鳥	百三十九
みしまおこせ 三島虎頭魚	百四十
みしながひ 鷄心螺	百四十
みみず 蚯蚓	百四十
みみづく 鴟鴞	百四十一
みそささい 鷓鴣	百四十一
みりやにだ	百四十一

むの部



むろあぢ 室鱈……………百四十一  
 むどくるむ 無毒類……………百四十一  
 むささび 鼯鼠……………百四十一  
 むくどり 棕鳥……………百四十一  
 むかで 蜈蚣……………百四十一  
 むかいるゐ 無核類……………百四十一  
 むたいばんほにうるゐ 無胎盤哺乳類……………百四十二  
 むしかひ……………百四十二  
 むびるゐ 無尾類……………百四十三  
 めの部  
 めじろ 繡眼兒……………百四十三  
 めくはじや 海豆芽……………百四十三

めだか 丁斑魚……………百四十三  
 めいきんるゐ 鳴禽類……………百四十三  
 めくらへび 盲蛇……………百四十三  
 もの部  
 もす 伯勞……………百四十四  
 もうきんるゐ 猛禽類……………百四十四  
 もうそくるゐ 毛足類……………百四十四  
 もんしろてふ 紋白蝶……………百四十四  
 もんきてふ 紋黃蝶……………百四十四  
 もくら 暗鼠……………百四十四  
 やの部



やどかり 寄居蟲……………百四十五  
 やままゆのてふ 天蠶蛾……………百四十五  
 やすで……………百四十六  
 やらじうを……………百四十六  
 やがら 火筒魚……………百四十六  
 やぎ 山羊……………百四十六  
 やつかしら 戴勝……………百四十六  
 やまどり 山鷄……………百四十七  
 やまから 山雀……………百四十七  
 やもり 行宮……………百四十七  
 やまかがし 山斑蛇……………百四十七  
 やつめうなぎ 八ッ目鰻……………百四十七

やまあらし 山豕鼠……………百四十四  
 やこうちう 夜光蟲……………百四十八

ゆの部

ゆうふんるゐ 有吻類……………百四十八  
 ゆうがほべうたん 月蛾……………百四十八  
 ゆうびるゐ 有尾類……………百四十八  
 ゆふはいるゐ 有肺類……………百四十八  
 ゆふたいゐるゐ 有袋類……………百四十九  
 ゆうこうるゐ 有孔類……………百四十九  
 ゆうたいばんほにうるゐ 有胎盤哺乳類……………百四十九  
 ゆうびがいしようるゐ 有尾海鞘類……………百四十九  
 ゆうはんるゐ 有板類……………百五十



ゆうそうるゐ 有爪類……………百五十  
 ゆうさくどうぶつ 有索動物……………百五十  
 ゆうせきどうぶつ 有脊動物……………百五十  
 ゆうていゐるゐ 有蹄類……………百五十四

よの部

ようさいゐるゐ 葉鰓類……………百五十五  
 よたか 怪鷗……………百五十五  
 よめがさら 賊……………百五十五  
 よくそくるゐ 翼足類……………百五十六  
 よたかるゐ 怪鷗類……………百五十六  
 よこくちるゐ 横口類……………百五十六  
 よくしるゐ 翼手類……………百五十六

よしきり 葦切……………百五十六  
 ようそくるゐ 葉足類……………百五十六  
 ようすいそくるゐ 陽逐足類……………百五十六

らの部

らつこ 海獺……………百五十七  
 らくだ 駱駝……………百五十七

りの部

りんごばへ 葉果蠅……………百五十七  
 りやうせいゐるゐ 兩棲類……………百五十八  
 りんび 鱗皮……………百五十八  
 りよくほるゐ 綠歩類……………百五十九  
 りよくまくさらら 綠膜水母……………百五十九



りんちうるゐ 輪蟲類 ..... 百五十九

りんしるゐ 鱗翅類 ..... 百五十九

りんぱくわんけい 淋巴管系 ..... 百五十九

りす 栗鼠 ..... 百六十

ろの部

ろくしやるゐ 六射類 ..... 百六十

じの部

わに 鱈魚 ..... 百六十

わたりどり 候鳥 ..... 百六十一

わたむし 綿蟲 ..... 百六十一

わにるゐ 鱈魚類 ..... 百六十一

わんそくるゐ 腕足類 ..... 百六十一

わし 鷺 ..... 百六十二

うの部

うんどうき 運動器 ..... 百六十二

うすばかげろう ..... 百六十二

うをむばつと ..... 百六十二



生理學

あ の 部

あせ 汗

あたま 頭

え の 部

えきくわ 腋窩

えんとう 咽頭

えんすい 延髄

お の 部

おうかくまく 横隔膜

おんせい 音聲

頁數



かの部

- がいけいどうみやく 外頸動脈……………二
- がいちよくきん 外直筋……………二
- かがくこつ 下顎骨……………三
- かくまく 角膜……………三
- かしたい 下肢帯……………三
- かしくつ 下肢骨……………三
- かしやきん 下斜筋……………三
- かたいこつ 下腿骨……………三
- がつかせん 顎下腺……………三
- かつしやじょうしんけい 滑車上神經……………四
- かつりよう 活量……………四

- かつはいきん 潤背筋……………四
- かてんきん 下轉筋……………四
- かどうくわんせつ 可動關節……………四
- かんどう 肝臟……………四
- かんくわん 肝管……………五
- かんせん 肝腺……………五
- かんぶこつかく 幹部骨路……………五
- かんこつ 頰骨……………五
- がんめんとうがい 顔面頭蓋……………五
- がんどらみやく 眼動脈……………六
- きうかくき 嗅器覺……………六

きの部



きくわん	氣管	.....	六
きようぶ	胸部	.....	六
きようこつ	胸骨	.....	六
きようさにうとうさん	胸鎖乳頭筋	.....	七
きんと	筋肚	.....	七
きんせんぬ	筋纖維	.....	七
きんにく	筋肉	.....	七
く の 部			
くうちよう	空腸	.....	七
くち	口	.....	八
くわいちよう	回腸	.....	八
くわんせつ	關節	.....	八

け の 部

け	毛	.....	八
けいこつ	脛骨	.....	八
けつまく	結膜	.....	八
けつえき	血液	.....	八
けつちよう	結腸	.....	九
けんこうたひ	肩胛帶	.....	九
けん	腱	.....	九
こ の 部			
こうじようせん	甲状線	.....	一〇
こうまく	硬膜	.....	一〇
こうかんしんけい	交感神經	.....	一〇



こうとうこつ 後頭骨……………一〇  
 こうしこつどうみやく 後篩骨動脈……………一〇  
 こうたんもうやうどうみやく 後短毛様動脈……………一〇  
 こうちやうもうやうどうみやく 後長毛様動脈……………一〇  
 こうがい 口蓋……………一〇  
 こうがいこつ 口蓋骨……………一一  
 こきうき 呼吸器……………一一  
 こつぱん 骨盤……………一一  
 こつくわ 骨化……………一一  
 こつまく 骨膜……………一一  
 こどう 鼓動……………一一  
 びくわん 五官……………一一

さ の 部

さいぼう 細胞……………一一  
 さこつかどうみやく 鎖骨下動脈……………一一  
 さこつ 鎖骨……………一二  
 さんりようきん 三稜筋……………一二  
 さんせんべん 三尖瓣……………一三  
 しうじきん 顳顬筋……………一三  
 じうにしちよう 十二指腸……………一三  
 しうじこつ 顳顬骨……………一三  
 しかくき 視覺器……………一三  
 じかせん 耳下腺……………一三



しが 齒牙……………一三  
 しこつ 趾骨……………一四  
 しこつ 指骨……………一五  
 ししんけい 視神經……………一五  
 した 舌……………一五  
 したのにうたう 舌の乳頭……………一五  
 しつがいこつ 膝蓋骨……………一五  
 しようこきん 四頭股筋……………一五  
 しぶこつかく 肢部骨節……………一五  
 しやくこつ 尺骨……………一六  
 しゆこつ 手骨……………一六  
 しようかくき 觸覺器……………一六

じようみやく 靜脈……………一六  
 しようどう 食道……………一六  
 しようくわき 消化器……………一七  
 しようこつ 掌骨……………一七  
 じようふこつ 上膊骨……………一七  
 じようしこつ 上肢骨……………一七  
 じようかくこつ 上顎骨……………一七  
 じようこうだいでうみやくかん 上行大動脈幹……………一七  
 じようがんくわしんけい 上眼窠神經……………一八  
 じようがんくわどうみやく 上眼窠動脈……………一八  
 じようしやきん 上斜筋……………一八  
 じようちよくきん 上直筋……………一八



じょうがんけんきよきん 上眼瞼舉筋.....一八

しんけい 神經.....一八

じんぞう 腎臟.....一八

しんぞう 心臟.....一九

しんぴ 眞皮.....一九

しんしつ 心室.....二〇

しんぼう 心房.....二〇

しんけいげんしつ 神經元質.....二〇

しんおん 心音.....二〇

しんけいけい 神經系.....二一

すの部

すいみん 睡眠.....二一

すいいきん 隨意筋.....二二

すゑき 腺液.....二二

すゐぞう 腺臟.....二三

せの部

せいのら 精囊.....二三

せいたい 聲帶.....二三

せうちよう 小腸.....二三

せうのふ 小腦.....二三

せきすい 脊髓.....二三

せきすいしんけい 脊髓神經.....二三

せきこつ 跗骨.....二三

せきちう 脊柱.....二三



せつかせん	舌下腺	.....	二三
せつこつ	舌骨	.....	二三
せんとうこつ	前頭骨	.....	二三
せんとうしんけい	前頭神経	.....	二四
せんしこつどうみやく	前篩骨動脈	.....	二四
せんどうくわんせつ	全動關節	.....	二四
せんふこつ	前膊骨	.....	二四
その部			
そうけいどうみやく	總頸動脈	.....	二四
そうぼらうきん	僧帽筋	.....	二四
そくこつ	足骨	.....	二四
そしやくきん	咀嚼筋	.....	二四

たの部

だいちよう	大腸	.....	二五
たいたいこつ	大腿骨	.....	二五
だいどうみやくきう	大動脈弓	.....	二五
だいきよきん	大鋸筋	.....	二五
だいどうみやくかん	大動脈幹	.....	二五
だいでんきん	大腎筋	.....	二六
だいのう	大脳	.....	二六
たいかん	體温	.....	二六
だえき	唾液	.....	二六
だせん	唾腺	.....	二六
たんじう	膽汁	.....	二六



たんもうやうしんけい	短毛様神經	二七
ちの部		
ぢゆんくわんき	循環器	二七
ちよう腸		二七
ちようかくき	聽覺器	二七
ちよくちよう	直腸	二七
ちようもうやうしんけい	長毛様神經	二八
ち血		二八
ちぶら	乳房	二八
つの部		
つめ爪		二八
つゐこつ	椎骨	二八

と の 部

どうみやく	動脈	二九
とうぶこつかく	頭部骨路	二九

な の 部

ないけいどうみやく	内頸動脈	二九
ないじ	内耳	二九
ないちよくきん	内直筋	三〇
なんこつ	軟骨	三〇

に の 部

にうし	乳齒	三〇
にせんべん	二尖瓣	三〇
によう尿		三〇



によろどう 尿道……………三二  
 の の 部  
 のうとうがい 脳頭蓋……………三一  
 のふしんけい 脳神經……………三一  
 は の 部  
 は 齒……………三一  
 はいどうみやく 肺動脈……………三一  
 はいせつき 排泄器……………三一  
 はいぞう 肺臟……………三一  
 はな 鼻……………三一  
 はんげつべん 半月瓣……………三一  
 はんどらくわんせつ 半動關節……………三一

ひ の 部

ひこつ 腓骨……………三三  
 ひこつ 鼻骨……………三三  
 ひしせん 皮脂腺……………三三  
 びせんとうどうみやく 鼻前頭動脈……………三三  
 ひぞう 脾臟……………三三  
 ひふ 皮膚……………三四  
 びもうやうしんけい 鼻毛様神經……………三四  
 ひようひ 表皮……………三四  
 ふ の 部  
 ふくじん 副腎……………三四  
 ふくきん 腹筋……………三五



ふこつ 跗骨……………三五  
 ふさんとうきん 膊三頭筋……………三五  
 ふすいひきん 不隨意筋……………三五  
 ふどうくわんせつ 不動關節……………三五  
 ふにとらきん 膊二頭筋……………三五  
 プルンネル氏腺……………三五  
 へそ 臍……………三六  
 ほの 部の……………三六  
 ほうせん 胞腺……………三六  
 ほうしようきん 縫匠筋……………三六  
 ぼうくわう 膀胱……………三六

ほね 骨……………三六  
 みの 部の……………三六  
 みかくき 味覺器……………三七  
 みらい 味蕾……………三七  
 めの 部の……………三七  
 め目……………三七  
 もの 部の……………三七  
 もうさいみやく 毛細脈……………三七  
 もうちよう 盲腸……………三七  
 もうやうしんけいせつ 毛様神經節……………三八  
 もうまくちうしんどうみやく 蓋膜中心動脈……………三八  
 ゆの 部の……………三八



ゆによろくわん 輸尿管……………三八  
 ゆび 指……………三八  
 ら の 部  
 らんそう 卵巢……………三八  
 り の 部  
 リーベルキユン氏腺……………三九  
 りようけいきん 菱形筋……………三九  
 りんぱえき 淋巴液……………三九  
 りんぱくわん 淋巴管……………三九  
 りんくわくにうとう 輪廊乳頭……………三九  
 る の 部  
 るいせん 涙腺……………三九

るいせんしんけい 涙腺神經……………三九  
 るいせんとらみやく 涙腺動脈……………三九  
 ろ の 部  
 ろくかんきん 肋間筋……………四〇  
 ろちようこつ 顱頂骨……………四〇  
 ろつこつ 肋骨……………四〇  
 じ の 部  
 わんこつ 腕骨……………四〇  
 お の 部  
 む 胃……………四〇  
 むえき 胃液……………四一



鑛物學

あ の 部

あられいし 霰石..... 頁數

あるみ..... 一

あんちもにー 安質母..... 一

あるみにゆーむ..... 二

い の 部

いしわた 石絨..... 二

いさよくしよう 異極晶..... 二

え の 部

えうどうくわう 黝銅鑛..... 三



かの部

- かんらんせき 橄欖石……………三
- かくせんせき 角閃石……………三
- かつせき 滑石……………三
- かつてつくわう 褐鐵鑛……………四
- かつたん 褐炭……………四
- かるいし 浮石……………四
- がんえん 岩鹽……………五
- かつれつ 割裂……………五
- かしよう 假晶……………六
- きの部
- ぎよくする 玉髓……………六

きせき 輝石……………六

きこばるとくわう 輝こばると鑛……………七

きん 金……………七

ぎん 銀……………八

ぎよく 玉……………八

きあんちもにー 輝安質母……………八

きんせきとうめいのだ 金石透明の度……………九

きんせきのこうど 金石の硬度……………九

きんせきないにこうせんくつせつじようたい

のしゆるる 金石内に光線屈折状態の種類……………十

くの部

ぐわんくわせき 頑火石……………十



くじやくせき 孔雀石……………十  
くろくむてつくわう くろくむ鐵鑛……………十一  
くさいりするしよ 草入水晶……………十一  
くろするしよ 黒水晶……………十一  
ぐうせい 偶生……………十一  
くわせきのしゆるる 化石の種類……………十二  
くわんめんたい 完面體……………十二  
くわうたく 光澤……………十二  
くわうぶつのでんねんへんくわ 鑛物の天然變化……………十二  
くわうみやく 鑛脈……………十二  
くわうぶつのはうがふたい 鑛物の集合體……………十二  
くわうぶつかく 鑛物學……………十三

くわうぶつ 鑛物……………十三  
くわうぶつかんさつはふ 鑛物觀察法……………十四  
くわうぶつがくのくぶん 鑛物學の區分……………十五

けの部

けいくわんせき 鶏冠石……………十六  
けつしよめんのしゆるる 結晶面の種類……………十六  
けつしよめんのそくていはふ 結晶面の測定法……………十七  
けつしよめん 結晶面……………十七  
けつしよけいのくわんさつ 結晶形の觀察……………十七  
けつしよすうがく 結晶數學……………十七  
けつしよたいのさんてん 結晶體の三點……………十八  
けつしよけいのせいせいげんいん……………十八



結晶形の生成原因……………十八

けいじよう 形状……………十八

けつしようたいのしゆるる 結晶體の種類……………十九

けつしようけいとうのしゆるる 結晶系統の種類……………十九

けつしようのけいさん 結晶の計算……………十九

けつしようたいろくけいぶんるる 結晶體六系分類……………十九

けつしようのはついく 結晶の發育……………二十

けつしようのせいちやう 結晶の生長……………二十一

けつしようのはつせい 結晶の發生……………二十一

けつしようのてんねんのもやう 結晶の天然の模様……………二十一

けつしようしつ 結晶質……………二十一

この部

こくうんぼ 黒雲母……………二十二

こうぎよくせき 鋼玉石……………二十二

こんがうせき 金剛石……………二十三

こくたん 黒炭……………二十三

こはく 琥珀……………二十四

こうまんがんくわう 硬滿俺鑛……………二十四

こどうせき 古銅石……………二十四

こくやうせき 黒曜石……………二十五

こうしよう 鑛床……………二十五

こうせん 鑛染……………二十五

こうぶつきじのじゆんじよ 鑛物記事の順序……………二十五

さの部



さくらんし 堇青石 ..... 二六六

ざくろいし 石榴石 ..... 二六六

この部

しやちやうせき 斜長石 ..... 二七七

じやもんせき 蛇紋石 ..... 二七七

じてつくわう 磁鐵鑽 ..... 二七七

しせんどう 自然銅 ..... 二七八

しやくせき 錫石 ..... 二七八

しんしや 辰砂 ..... 二八九

しやうせき 硝石 ..... 二八九

しせんさうえん 自然蒼鉛 ..... 二九九

じゆうじせき 十字石 ..... 二九九

しやうにゆうせき 鍾乳石 ..... 三三〇

しそきせき 紫蘇輝石 ..... 三三〇

しんちゆう 眞鍮 ..... 三三〇

しろみ 白鑽 ..... 三三〇

しよくさい 色彩 ..... 三三一

じようこん 條痕 ..... 三三一

しようかくのふへん 晶角の不変 ..... 三三一

しやうぢくのかたむき 晶軸の傾 ..... 三三一

すの部

すゐしよう 水晶 ..... 三三二

すゐぎん 水銀 ..... 三三二

せの部



せきばく 石墨 ..... 三十三  
 せきえい 石英 ..... 三十三  
 せいちやうせき 正長石 ..... 三十四  
 せきこう 石膏 ..... 三十四  
 せきてつくわう 赤鐵鑛 ..... 三十五  
 せきどうくわう 赤銅鑛 ..... 三十五  
 せきたん 石炭 ..... 三十五  
 せきゆ 石油 ..... 三十六  
 せきじゆん 石筍 ..... 三十六  
 せつしよくへんしつ 接觸變質 ..... 三十七  
 その部  
 そうしやう 双晶 ..... 三十七

そくかくはふ 測角法 ..... 三十七  
 たの部  
 だいりせき 大理石 ..... 三十七  
 たうど 陶土 ..... 三十八  
 たんぱん 膽礬 ..... 三十八  
 たんぱくせき 蛋白石 ..... 三十九  
 ちの部  
 ちゆうしやうせき 重晶石 ..... 三十九  
 ちよくせんとうえいはう 直線投影法 ..... 三十九  
 ての部  
 でいたん 泥炭 ..... 四十  
 でんきせき 電氣石 ..... 四十



てつ 鐵……………四十  
 この部  
 どう 銅……………四十二  
 どれきせい 土瀝青……………四十二  
 どくしや 毒砂……………四十三  
 どうしつゐけい 同質異形……………四十三  
 どうけいざつたい 同形雜體……………四十三  
 とうぢくしよけいのはんめんたいのさんそく  
 等軸晶系の半面體の三則……………四十三  
 なの部  
 なまり 鉛……………四十三  
 なんまんがんくわう 軟滿俺鑛……………四十四

はの部

はうゐえんくわう 方亞鉛鑛……………四十四  
 はくうんせき 白雲石……………四十五  
 はんどうくわう 班銅鑛……………四十五  
 はうえんくわう 方鉛鑛……………四十五  
 はくきん 白金……………四十五  
 はくうんば 白雲母……………四十六  
 はさい 破碎……………四十六  
 ひの部  
 ひるいし 蛭石……………四十六  
 ひうちいし 燧石……………四十七  
 ひやうせき 氷石……………四十七



ひせき 砒石…………… 四十七

ふの部

ふつせき 沸石…………… 四十七

ぶりき 鐵葉…………… 四十八

ふうしんしくわう 風信子鑛…………… 四十八

ふしよくしより 腐蝕像…………… 四十九

ふけつしようしつ 不結晶質…………… 四十九

への部

へきぎよく 碧玉…………… 四十九

べにがら 鐵丹…………… 四十九

へいこうそうけつ 平行相結…………… 四十九

ほの部

ほうかいせき 方解石…………… 五十

ほたるいし 螢石…………… 五十

まの部

まんがんくわう 滿俺鑛…………… 五十一

みの部

みやうばん 明礬…………… 五十一

みかげいし 御影石…………… 五十一

むの部

むらさきずるしよう 紫水晶…………… 五十二

むえんたん 無焰炭…………… 五十三

めの部

めなう 瑪瑙…………… 五十三



やの部

やうぎん 洋銀 ..... 五十四

ゆの部

ゆわう 硫黄 ..... 五十四

ゆうわう 雄黄 ..... 五十四

らの部

らんどらくわう 藍銅鑛 ..... 五十五

らふせき 蠟石 ..... 五十五

りの部

りよくちうせき 綠柱石 ..... 五十五

りよくれんせき 綠簾石 ..... 五十六

りよくでいせき 綠泥石 ..... 五十六

りやうてつくわう 菱鐵鑛 ..... 五十六

りうぎんくわう 硫銀鑛 ..... 五十七

りんくわいせき 磷灰石 ..... 五十七

りんくわう 磷光 ..... 五十七

るの部

るゐしつどうけい 類質同形 ..... 五十八

ろの部

ろしやせき 礫砂石 ..... 五十八

ろくめんたい 六面體 ..... 五十八

わの部

わうとらうくわう 黃銅鑛 ..... 五十九

わうてつくわう 黃鐵鑛 ..... 五十九



わらぎよくせき 黄玉石……………六十

# 天文學

## あ の 部

あさきより 朝距離……………一 頁數

## う の 部

うちゆうぢん 宇宙塵……………一

うすわかり 薄明……………一

うるふとし 閏年……………一

## え の 部

えんじつてん 遠日點……………一

## か の 部

かうんせい 霞雲星……………一



- からせいねん 恒星年……………二
- がいゆうせい 外遊星……………二
- かいわうせい 海王星……………二
- かいきにつしよく 皆既日蝕……………二
- かげん 下弦……………二
- かんたい 寒帯……………二
- き の 部
- きどう 軌道……………二
- きどうのけいしや 軌道の傾斜……………三
- きんせい 金星……………三
- ぎんが 銀河……………三
- きんじつてん 近日點……………三

- きやくてん 脚點……………四
- く の 部
- くわんき 冠氣……………四
- くわうどうくわう 黃道光……………四
- くわきゆう 火球……………四
- くわせい 火星……………四
- くわんじやうにつしよく 環狀日蝕……………五
- くわいさねん 回歸年……………五
- くわいさせん 回歸線……………五
- くわうどう 黃道……………五
- くわうねん 光年……………五
- け の 部



ケプレルしのはうそく ケプレル氏の法則……………六  
 けいと 經度……………六  
 げつしよく 月蝕……………七  
 げし 夏至……………七

こ の 部

こうえん 紅焰……………七  
 こよみ……………七  
 こうせい 恒星……………八  
 こうてん 公轉……………八

さ の 部

ざつせつ 雜節……………八  
 さうしせい 双子星……………八

し の 部

しやにち 社日……………八  
 じつかん 十干……………九  
 じうにし 十二支……………九  
 しゆう 週……………九  
 じてん 自轉……………九  
 しき 四季……………十  
 しゆんぶん 春分……………十  
 しゆうぶん 秋分……………十一  
 しやうどう 章動……………十一  
 じやうげん 上弦……………十一  
 しんげつ 新月……………十一



しゆつばつせい 出殛星……………十一

しゆらきよくせい 週極星……………十一

しごくわん 子午圈……………十一

じくわん 時圈……………十一

すの部

すいせい 彗星……………十二

すいせいとちさうのしやうとつ 彗星と地球の衝突……………十二

すいせいのしん 彗星の心……………十二

すいせいのこうてん 彗星の公轉……………十二

するせい 水星……………十三

せの部

せつぶん 節分……………十三

せいぶへうじゆんじ 西部標準時……………十三

せうゆうせい 小遊星……………十三

せいしよく 星蝕……………十三

せいむ 星霧……………十三

せいうん 星雲……………十四

たの部

たいやう 太陽……………十四

たいやうけい 太陽系……………十四

たいやうのうんどう 太陽の運動……………十四

たいやうのいんりよく 太陽の引力……………十四

たいやうのはんてん 太陽の斑點……………十四

たいやうのじてん 太陽の自轉……………十五



たいやうのおほきさ 太陽の大きさ……………十五  
 たいやうしやう 太陽章……………十五  
 たいゐん 太陰……………十五  
 たいゐんしやう 太陰章……………十五  
 たいゐんのおほきさ 太陰の大きさ……………十六  
 たいゐんのひやうめん 太陰の表面……………十六  
 たいやうれき 太陽曆……………十六  
 たいゐんれき 太陰曆……………十六  
 ちの部  
 ちきゆうのかたち 地球の形……………十七  
 ちきゆうのおほきさ 地球の大きさ……………十七  
 ちゆうゆうせい 中遊星……………十七

ちゆうこ 晝弧……………十七  
 ちゆうあうへうじゆんじ 中央標準時……………十七  
 ちはうじ 地方時……………十七  
 ちへいめん 地平面……………十七  
 ちへいせん 地平線……………十八  
 つの部  
 つき 月……………十八  
 ての部  
 てんもんがく 天文学……………十八  
 てんちゆう 天中……………十八  
 てんちやう 天頂……………十八  
 てんきう 天球……………十八



てんたい 天體……………十九  
 てんたいのこうろ 天體の行路……………十九  
 てんのくぶん 天の區分……………十九  
 てんわうせい 天王星……………十九  
 との部  
 とうらう 土用……………二十  
 どうぶつくわん 動物園……………二十  
 とうじ 冬至……………二十  
 どせい 土星……………二十  
 なの部  
 なんてん 南天……………二十  
 ないゆうせい 内遊星……………二十

にの部  
 にひやくとうか 二百十日……………二十一  
 にうばい 入梅……………二十一  
 につしよく 日蝕……………二十一  
 にじうしせつき 二十四節季……………二十一  
 ねの部  
 ねつたい 熱帶……………二十一  
 はの部  
 はちせんいち 八專日……………二十一  
 はんげしやう 半夏生……………二十二  
 はちじうはちや 八十八夜……………二十二  
 はくどう 白道……………二十二



ひの部

ひがん 彼岸……………二十二

ひづけのかいせん 日附の界線……………二十二

ふの部

ふぶんにつしよく 部分日蝕……………二十三

への部

へんくわうせい 變光星……………二十三

へいねん 平年……………二十三

へうじゆんじ 標準時……………二十三

ほの部

ほし 星……………二十三

ほしび 星日……………二十四

ほくてん 北天……………二十四

ほくきまくせい 北極星……………二十四

ほくとしちせい 北斗七星……………二十四

まの部

まんげつ 満月……………二十五

もの部

もくせい 木星……………二十五

やの部

やこ 夜孤……………二十五

ゆの部

ゆうせい 遊星……………二十五

ゆうきより 夕距離……………二十五



り の 部

- りゅうせい 流星……………二十六
- りゅうせいのたかさ 流星の高さ……………二十六
- りゅうせいのひかり 流星の光……………二十六
- りゅうせいのかず 流星の数……………二十六
- りゅうせいのそくりよく 流星の速力……………二十六
- りゅうせいぐん 流星群……………二十六
- るくせい 惑星……………二十七
- るの 部……………二十七
- るんせい 隕星……………二十七
- るんせき 隕石……………二十七

るど 緯度……………二十八

るくわん 緯圈……………二十八

る の 部

るいせい 衛星……………二十八

る の 部

るんたい 温帯……………二十八



# 地質學

## あ の 部

あんざんがん 安山岩……………頁數  
一

## う の 部

うんばさりよくがん 雲母輝綠岩……………一  
うんばへんがん 雲母片岩……………一  
うんばへんまがん 雲母片麻岩……………二  
うんばそめんがん 雲母粗面岩……………二  
うんばこくくわからがん 雲母黒花崗岩……………二  
うんばせんりよくがん 雲母閃綠岩……………二

## え の 部



エリオライトこくくわかうがん エリオライト  
 黒花崗岩……………  
 えきたいいはうりぶつ 液體包裹物……………  
 えんしんじやう 延伸狀……………  
 紀の部……………  
 おんせん 温泉……………  
 かの部……………  
 かんけつおんせん 間歇温泉……………  
 かいめんいどうせつ 海面移動說……………  
 かにいていくわざん 海底火山……………  
 がいりんさん 外輪山……………  
 がんせき 岩石……………

がんせきのしゆるい 岩石の種類……………  
 がんせきのせいぶん 岩石の成分……………  
 がんせきせいじんへん 岩石成因篇……………  
 がんせきへん 岩石篇……………  
 かくばんがん 角礫岩……………  
 かくせんへんがん 角閃片岩……………  
 がんきうへんまがん 眼球片麻岩……………  
 かくせんへんまがん 角閃片麻岩……………  
 かんらんがん 橄欖岩……………  
 かくせんがん 角閃岩……………  
 かせきげんぶがん 霞石玄武岩……………  
 かくせんきりよくがん 角閃輝綠岩……………



かんらんきりよくがん 橄欖輝綠岩……………八  
 かくせんはんれいがん 角閃班輝岩……………八  
 かんらんはんれいがん 橄欖班輝岩……………八  
 かくせんそめんがん 角閃粗面岩……………八  
 かくせんこくくわかうがん 角閃黒花崗岩……………八  
 かんきうくわかうがん 眼球花崗岩……………八  
 かくせんくわかうがん 角閃花崗岩……………八  
 がんべい 岩餅……………八  
 かつたん 褐岩炭……………八  
 かせんせいたんせいがん 可燃性單性岩……………八  
 かくがん 角岩……………八  
 かうせきかう 硬石膏……………九

がんえん 岩鹽……………九  
 がんりぶつ 含裏物……………九  
 がんせきこうごうのけいしき 岩石構造の形式……………十  
 かいていのとつあう 海底の凸凹……………十  
 かせのちしつてきさよう 風の地質的作用……………十一  
 かいすゐのさよう 海水的作用……………十一  
 がんしやう 岩漿……………十一

きの部

きんこかい 近古界……………十二  
 きやうくわいすいほう 凝灰錐峯……………十三  
 きんせいせきへんまがん 堇青石片麻岩……………十三  
 きせきへんまがん 輝石片麻岩……………十三



きげんぶがんるい 基玄武岩類……………十三  
 きがん 輝岩……………十三  
 きりよくがん 輝綠岩……………十四  
 きせいがんるい 基性岩類……………十四  
 きやうがん 響岩……………十四  
 きせきそめんがん 輝石粗面岩……………十四  
 きせきこくくわかうがん 輝石黒花崗岩……………十四  
 きらじやうせんりよくがん 球狀閃綠岩……………十四  
 きせきくわかうがん 輝石花崗岩……………十四  
 きらじやうくわかうがん 球狀花崗岩……………十四  
 きせいがん 氣成岩……………十四  
 きよらんせき 魚卵岩……………十四

きらしじやう 球子狀……………十四  
 きらし 球子……………十五  
 きよらんじやう 魚卵狀……………十五  
 きやうしじやう 杏子狀……………十五  
 きつこうせき 龜甲石……………十五

くの部

くわざん 火山……………十五  
 くわこうげん 火口原……………十五  
 くわんぺき 環壁……………十五  
 くわざんのはいふ 火山の配布……………十六  
 くわざんみやく 火山脈……………十六  
 くわざんい 火山彙……………十六



くわざんがん 火山岩……………十六

くわざんしつのやま 火山質の山……………十六

くわざんはれつのげんいん 火山破裂の原因……………十七

くわざんはれつのせんでう 火山破裂の前兆……………十七

くわいじやうくわざん 塊状火山……………十七

くわざんこうせい のざいれう 火山構成の材料……………十八

くわせいがん 火成岩……………十八

くわせいがんのとくせい 火成岩の特性……………十九

くわいじやうがん 塊状岩……………二十

くわかうがんやうへんまがん 花崗岩様片麻岩……………二十

くわかうがんるい 花崗岩類……………二十

くわかうがん 花崗岩……………二十

くわうみやく 鑛脈……………二十二

くわうそう 鑛層……………二十二

け の 部

けつかく 結核……………二十二

けつがん 頁岩……………二十三

げんぶがん 玄武岩……………二十三

けいちやうしつせきき 硅長質石基……………二十三

けいさうど 硅藻土……………二十四

けいくわ 硅華……………二十四

こ の 部

こんせいすいほう 混成錐峰……………二十四

こほり氷……………二十四



- こたいはうりぶつ 固體包裹物…………… 二十四
- こくくわからがん 黒花崗岩…………… 二十五
- こくうんぼくわからがん 黒雲母花崗岩…………… 二十五
- こくたん 黒炭…………… 二十五
- さ の 部
- さんくわい 山塊…………… 二十五
- さんがく 山岳…………… 二十五
- さがん 砂岩…………… 二十五
- さしつ 砂質…………… 二十五
- し の 部
- しげんかい 始原界…………… 二十六
- じやうおんそう 常溫層…………… 二十六

- しゆせいぶん 主成分…………… 二十六
- じじやう鱈狀…………… 二十七
- じじやうせきくわいがん 鱈狀石灰岩…………… 二十七
- しふせきすいほう 集積錐峰…………… 二十八
- しようからせき 松香石…………… 二十八
- しきんせき 試金石…………… 二十八
- しんくわせいがん 新火成岩…………… 二十八
- しんぞうがん 深造岩…………… 二十八
- しやうしつさがん 晶質砂岩…………… 二十八
- しやうしつはくがん 晶質剝岩…………… 二十九
- す の 部
- スパグリスせきから スパグリス石膏…………… 二十九



すゐひよう 水氷……………二十九  
 すゐしよくのやま 水蝕の山……………二十九  
 すゐくわさよう 水化作用……………三十  
 すゐせいがん 水成岩……………三十

せ の 部

せいそうくわざん 成層火山……………三十一  
 せつじやうがん 層狀岩……………三十二  
 せんまいがん 千枚岩……………三十三  
 せいしきさりよくがん 正式輝綠岩……………三十三  
 せんりよくがん 閃綠岩……………三十三  
 せきえいそめんがん 石英粗面岩……………三十三  
 せきき 石基……………三十四

せきえいはんがん 石英斑岩……………三十四  
 せいしきせきえいはんがん 正式石英斑岩……………三十四  
 せいしきくわかうがん 正式花崗岩……………三十四  
 せきぼく 石墨……………三十四  
 せきゆう 石油……………三十四  
 せきたんるい 石炭類……………三十五  
 せきえいがん 石英岩……………三十五  
 せきくわいくわ 石灰華……………三十五  
 せきしようにう 石鐘乳……………三十五  
 せきじゆん 石筍……………三十五  
 せきくわいがん 石灰岩……………三十五  
 せきかう 石膏……………三十六



せんいせきから 纖維石膏……………三十七  
 せつひよう 雪氷……………三十三  
 せつしよくへんせい 接觸變性……………三十七  
 そ の 部  
 そめんがん 粗面岩……………三十七  
 そらい 層位……………三十七  
 た の 部  
 たいこかい 太古界……………三十八  
 だんそう 斷層……………三十九  
 たいじやう 帶狀……………三十九  
 たんせいがん 單性岩……………四十  
 たいりせき 大理石……………四十

たんそう 炭層……………四十  
 ち の 部

ちしつがく 地質學……………四十  
 ちしつがくのくぶん 地質學の區分……………四十一  
 ちさうへん 地相篇……………四十一  
 ちしつこうどうへん 地質構造篇……………四十一  
 ちしつれきしへん 地質歴史篇……………四十一  
 ちしつねんだい 地質年代……………四十一  
 ちうこかい 中古界……………四十二  
 ちさうのみつと 地球の密……………四十二  
 ちさうのさりつ 地相の規律……………四十三  
 ちさうないふのおんど 地球内部の温度……………四十三



ちきうないぶのこうおん 地球内部の高温…………… 四十四  
ちきうないぶのじやうたい 地球内部の状態…………… 四十四  
ちちうどうかんりつ 地中増温率…………… 四十五  
ちみつ 緻密…………… 四十五  
ちそう 地層…………… 四十五  
ぢしん 地震…………… 四十六  
ぢやもんがん 蛇紋岩…………… 四十六  
ぢやうせきげんぶがん 長石玄武岩…………… 四十七  
ぢやうせきはんがん 長石班岩…………… 四十七  
ちみつせきくわいがん 緻密石灰岩…………… 四十七  
ちみつせきかう 緻密石膏…………… 四十七  
て の 部

でいくわいがん 泥灰岩…………… 四十七  
と の 部  
どうりよくへん 動力篇…………… 四十七  
とちのしようかう 土地の昇降…………… 四十八  
な の 部  
なりいし 鳴石…………… 四十九  
ね の 部  
ねんばんがん 粘板岩…………… 四十九  
ねんど 粘土…………… 四十九  
ねんどしつ 粘土質…………… 四十九  
は の 部  
ばんがんしつ 燧岩質…………… 四十九



ばんがん 燧岩……………五十  
 はくりふがん 白粒岩……………五十  
 はんれいがん 斑糲岩……………五十  
 はんじやうくわうぶつ 斑狀鑛物……………五十  
 はくうんぼくわかうがん 白雲母花崗岩……………五十  
 はくうんがん 白雲岩……………五十  
 はくわ 白堊……………五十一  
 はうりいぶつ 包裹異物……………五十一  
 はうしつはうりぶつ 玻璃質包裹物……………五十一  
 はんじやう 斑狀……………五十一  
 ひ  
 ひの 部  
 ひようか 氷河……………五十一

びくわかうがん 微花崗岩……………五十二  
 びはうりぶつ 微包裹物……………五十二  
 ふ  
 ぶの 部  
 ふつうへんまがん 普通片麻岩……………五十二  
 ふじがん 富士岩……………五十二  
 ファイルン……………五十二  
 ふくせいがん 複性岩……………五十二  
 ふんびつ 分泌……………五十二  
 ふくせいぶん 副成分……………五十二  
 ふくかい 副塊……………五十二  
 へ  
 への 部  
 へんじやう 片狀……………五十三



- へんじやうがん 片狀岩……………五十三
- へんじやうくわかうがん 片狀花崗岩……………五十四
- へんまがん 片麻岩……………五十四
- ほ の 部
- ぼがん 母岩……………五十四
- ぼんじやうそう 盆狀層……………五十四
- ま の 部
- マール……………五十四
- まめいし 豆石……………五十五
- み の 部
- みづのちかじゆんくわん 水の地下循環……………五十五
- む の 部

- むちやうせきげんぶがん 無長石玄武岩……………五十五
- むえんたん 無燐炭……………五十五
- も の 部
- もくりじやう 木理狀……………五十五
- ゆ の 部
- ゆき 雪……………五十六
- ゆうこうじやう 有孔狀……………五十六
- よ の 部
- ようさいじやう 熔滓狀……………五十六
- ようがんすいほう 熔岩錐峰……………五十六
- ようがん 熔岩……………五十六
- り の 部



りよくれんへんまがん 綠簾片麻岩……………五十七  
 りんじやう 鱗狀……………五十七  
 りふじやう 粒狀……………五十七  
 りふじやうせきくわいがん 粒狀石灰岩……………五十七  
 りふじやうせきかう 粒狀石膏……………五十七  
 れ の 部……………五十八  
 れんれい 連嶺……………五十八  
 ろ の 部……………五十九  
 ろぼ 壩……………五十九

# 地 文 學

## あ の 部

あめ 雨……………一  
 アンチルスりう アンチルス流……………二  
 あげしほ 上潮……………二  
 い の 部……………二  
 いうこうちゆうど 有孔蟲土……………二  
 むせきこ 遺跡湖……………二  
 う の 部……………二  
 うらん 雨雲……………二  
 うりやう 雨量……………二

頁數



うき	雨季	.....	三
うみのいろ	海の色	.....	三
うねり		.....	三
うみのさやう	海の作用	.....	三
	北の部		
おやしほ	親潮	.....	四
おんせん	温泉	.....	四
	かの部		
かせ	風	.....	四
かせのうんぱんさよう	風の運搬作用	.....	四
かせのけんせつさよう	風の建設作用	.....	四
かいふう	海風	.....	五

かせのへんかう	風の變向	.....	五
かうきあつ	高氣壓	.....	五
かんりう	寒流	.....	五
カリフォルニヤりう	カリフォルニヤ流	.....	六
かいらうてきさこう	海洋的氣候	.....	六
かिसるちうのえんぶん	海水中の鹽分	.....	六
かिसるのひぢゆう	海水の比重	.....	七
かिसるのおんど	海水の温度	.....	七
かんでふ	寒潮	.....	七
がんえんさう	岩鹽層	.....	七
かんらくこ	陷落湖	.....	七
かうどうこ	構造湖	.....	七



かんすゐこ 鹹水湖……………七  
 かこう 河口……………八  
 かすゐのさやう 河水の作用……………八  
 かけい 河系……………八  
 かんかつふんたうせん 間歇噴湯泉……………九  
 かこうち 下降地……………九  
 かんらくち 陷落地……………九  
 かうち 高地……………九  
 かつしよくじんしゆ 褐色人種……………九  
 き の 部  
 きこう 氣候……………九  
 きせつふう 氣節風……………十

きあつ 氣壓……………十  
 きをん 氣温……………十  
 きたせきどうりゆう 北赤道流……………十  
 きうくわざん 休眠火山……………十  
 きよせう 裾礁……………十一  
 きよくくわう 極光……………十一  
 く の 部  
 くも 雲……………十一  
 くわいさむふうたい 回歸無風帶……………十一  
 くるしほ 黒潮……………十二  
 くわざん 火山……………十二  
 くわつくわざん 活火山……………十二



- くわざんれつ 火山列……………十二
- くわざんぐん 火山群……………十三
- くわこうへき 火山壁……………十二
- くわこうこ 火山湖……………十二
- くわんぬき 灌域……………十二
- くわうせん 鑛泉……………十二
- くわんせう 環礁……………十二
- くわうしよくじんしゆ 黄色人種……………十二
- くりすときやう 基督教……………十三
- け の 部
- けんざうき 乾燥期……………十三
- けんうん 卷雲……………十三

この部

- こせう 湖礁……………十三
- こくしよくじんしゆ 黑色人種……………十三
- さ の 部
- さうらん 層雲……………十三
- さいかうをんじ 最高温時……………十三
- さいていをんじ 最低温時……………十四
- さんひやう 山氷……………十四
- さんみやく 山脈……………十四
- さんる 山嶺……………十四
- さんごとう 珊瑚島……………十四
- こ の 部



しつぎ 濕氣……………十四

しんきろう 蜃氣樓……………十四

しんかい 深海……………十五

しほどき 潮時……………十五

じやうしやうち 上昇地……………十五

しうたいせき 終堆石……………十五

しよくぶつたい 植物帶……………十五

しよくぶつくいさ 植物區域……………十六

じつやうしよしよくぶつのさんち 實用植物の產地……………十六

じんこうのみつど 人口の密度……………十七

じんしゆ 人種……………十七

じんるいとさこう 人類と氣候……………十七

せ の 部

じゆでやさやう 猶太教……………十八

せきどうりう 赤道流……………十八

せうてう 小潮……………十九

せんぷう 旋風……………十九

せきどうむふうたい 赤道無風帶……………十九

せつせん 雪線……………十九

せきうん 積雲……………二十

せつたいしつど 絶對濕度……………二十

セントエルモーひセントエルモー火……………二十

せいぶつのぶんぷ 生物の分布……………二十

せいぶつぶんぷのげんいん 生物分布の原因……………二十



せいだい 政體……………二十一

そくたいせき 側堆石……………二十一

たの部

たいき 大氣……………二十一

たいりくてききこ 大陸的氣候……………二十一

たつまき 龍卷……………二十二

たいてう 大潮……………二十二

たにかい 坦海……………二十二

たんすゐこ 淡水湖……………二十二

たいせき 堆石……………二十二

たてだに 縦谷……………二十二

たいりくとう 大陸島……………二十三

たいやうとう 大洋島……………二十三

たんかんで 單音語……………二十三

ちの部

ちもんがく 地文學……………二十三

ちはうふう 地方風……………二十三

ちすゐ 地水……………二十三

ちくていこ 築堤湖……………二十三

ちうたいせき 中堆石……………二十三

ちじき 地磁氣……………二十四

ちしん 地震……………二十四

つの部



つしまりう 對馬流……………二十六  
 つなみ 海嘯……………二十六  
 て の 部  
 てんしよく 天色……………二十六  
 てんき 天氣……………二十六  
 ていきあつ 低氣壓……………二十六  
 てうせき 潮汐……………二十六  
 てうせきのたかさ 潮汐の高さ……………二十七  
 ていち 低地……………二十七  
 ていたいせき 低堆石……………二十七  
 てんかご 添加語……………二十七  
 と の 部

どうあつせん 同壓線……………二十七  
 どうをんせん 同温線……………二十八  
 どうぶつくいさ 動物區域……………二十八  
 どうしよくじんしゆ 銅色人種……………二十八  
 な の 部  
 なんとらうばうえきふう 南東貿易風……………二十八  
 なたれ 雪崩……………二十八  
 なみのしうき 波の週期……………二十九  
 なみのはば 波の幅……………二十九  
 なみのたかさ 波の高……………二十九  
 なみのそくりよく 波の速力……………二十九  
 なんひやうやうりう 南水洋流……………二十九



に の 部

- にじ 虹霓……………二十九
- は の 部
- はらう 波浪……………三十
- はざん 波山……………三十
- はこく 波谷……………三十
- はうわ 飽和……………三十
- ばうふう 暴風……………三十
- ばうえきふう 貿易風……………三十
- はんたいせんぷう 反對旋風……………三十一
- はんたいせきどうりう 反對赤道流……………三十一
- はる 波呂……………三十一

- はくせきじんしゆ 白哲人種……………三十一
- はいくわきやう 拜火教……………三十一
- はいぶつみやう 拜物教……………三十一
- はいせいみやう 拜星教……………三十一
- ハラモンきやう ハラモン教……………三十一

ひ の 部

- ひかくしつど 比較濕度……………三十二
- ひやうが 氷河……………三十二
- ひがしグリーンランドりう 東グリーンランド流……………三十二
- ひやうがひやう 氷河水……………三十二
- ひやうざん 氷山……………三十二
- ひきしほ 引き汐……………三十三



ふ の 部

- ふうたい 風帯……………三十三
- ふうしよく 風蝕……………三十三
- ブラシルりう ブラシル流……………三十三
- ふんすゐせん 分水線……………三十三
- ふんきこう 噴氣孔……………三十三
- ふんしゆつから 噴出溝……………三十三
- ふんくわこう 噴火口……………三十三
- ふくたいやう 副太陽……………三十四
- ふくたいゐん 副太陰……………三十四
- フイファイきやう 回回教……………三十四
- ぶつきやう 佛教……………三十四

へ の 部

- へんぷうたい 變風帯……………三十四
  - へいきんをんど 平均温度……………三十四
  - ベンガラりう ベンガラ流……………三十五
  - ペルーりう 秘露流……………三十五
  - へんくわで 變化語……………三十五
- ほ の 部
- ほくとうばうゑきふう 北東貿易風……………三十五
  - ほりぬきゐど 鑽井……………三十五
  - ほうせう 堡礁……………三十五
- ま の 部
- マスカリンりう マスカリン流……………三十五



まんてら 満潮……………三十五  
 み の 部  
 みづらみのせうめつ 湖の消滅……………三十五  
 みづらみ 湖……………三十六  
 みなみせきさどうりう 南赤道流……………三十五  
 民種……………三十六  
 め の 部  
 メキシコわんりう メキシコ湾流……………三十六  
 も の 部  
 モサムビツクりう モサムビツク流……………三十六  
 ゆ の 部  
 ゆき 雪……………三十七

ゆうれいび 鬼火……………三十七  
 よ の 部  
 よこだに 横谷……………三十七  
 ら の 部  
 ラプアドールりう ラプアドール流……………三十七  
 り の 部  
 りくふう 陸風……………三十七  
 りうゐき 流域……………三十八  
 りんくわう 隣光……………三十八  
 ろ の 部  
 ろてん 露點……………三十八



# 新刊廣告

文部省檢定濟 農學士塚本道遠校閱 公論社編輯所編

## ○初等農業教科書

全二冊

定價一冊金拾參錢つゝ、  
和製一冊百頁餘美本

本書は本年四月より實行せらるゝ高等小學校第三  
年四年の兒童用にして昨年末に檢定濟となれり見  
本として各高等小學校に献上致度けれど左様にも  
參らざれば不得止二冊にて貳拾錢を送らるれば郵  
税自辨にて御送付致すべし

明治三十七年三月



埼玉縣師範學校附屬小學校主事志村伴次郎君校閱  
愛知縣師範學校附屬小學校主事蟹江虎五郎君  
元女子高等師範學校訓導中野新右衛門君編纂

國定教科尋常算術教案

菊版定價  
全四冊

卷一金五十錢  
卷二金五十錢  
卷三金六十錢  
卷四金六十錢  
郵稅各六錢

●本書は現今算術教授の通弊を一掃して良好なる成績を得せしめんが爲に現はれたるもの

●本書は教授の實際に顧み根本より算術教授の目的を達せしめんが爲に現はれたるもの



陸軍歩兵中佐 編 澤 總 司 君 序 文  
陸軍中央幼年學校教授 三 乃 谷 扶 綱 君 編

地理 地 理 集 要

日本之部

正價 四 拾 錢

郵稅 四 錢

本書は 多事實験せる教材を整理したるも普通地理  
上の事實は勿論 歴史に關する事項及地質の一般等を  
せり地勢及處誌の説明に至りては編者の最も意  
殊に地勢及處誌を用ゐたる所なり故に本書は 小學校中  
等學校の教授者論は勿 師範學校中學校の生徒  
又受験者 其の他苟も地理を修 適切有益なることは他に其  
り乞ふ速に一本を備へられんことを



# ◎理科筆記帳出版廣告

四

(一) 筆記帳は一ケ年に二冊宛使用すること (二) 一冊五十頁乃至七十頁にて菊版形 (三) 内容は高等師範學校附屬小學校の教授細目を骨子として各地教育家の輿論を参考したり (四) 理科手帳の内容は實科及び家政必要の材料を秩序的に編せり (五) 兒童に理解し易からしむる爲め毎頁書を挿入す (六) 教師用は兒童内容の外、目的方法・効用・附説等を詳悉せり (七) 其他詳細なることは理科の見本を御覽ありたし (八) 其定價表左の如し

理科	一年用前期後期共各一冊金七錢	理科教師用卷一	金貳拾錢
同	三年用前期後期共各一冊金七錢	同	卷二 金貳拾錢
同	三年用前期後期共各一冊金八錢	同	卷三 金貳拾五錢
同	四年用前期後期共各一冊金八錢	同	卷四 金貳拾五錢

本書の特色は時間と勞力を省き、口授時間及び實物教授時を多く與へ得らるゝ良法なるを信す又此方法による時は教授要目教案等の勞を省くこともあるべし



明治三十七年三月卅日印刷  
明治三十七年四月三日發行

不許複製

發行所  
賣捌所

編輯者

東京市神田區南甲賀町八番地  
公論社內

理科研究會

發行者

東京市神田區南甲賀町八番地

須藤周三郎

印刷者

東京市京橋區元數寄屋町四ノ二番地

伊藤勝三

印刷所

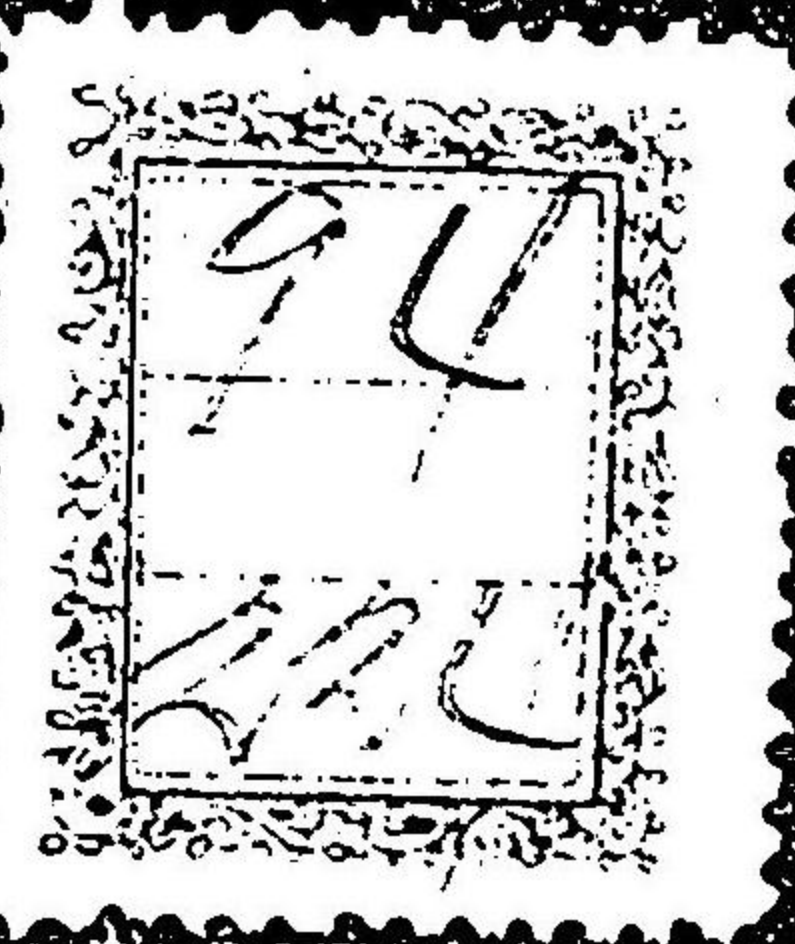
東京市京橋區元數寄屋町四ノ二番地  
合資會社 福岡商店印刷部

東京市神田區南甲賀町八番地  
公論社

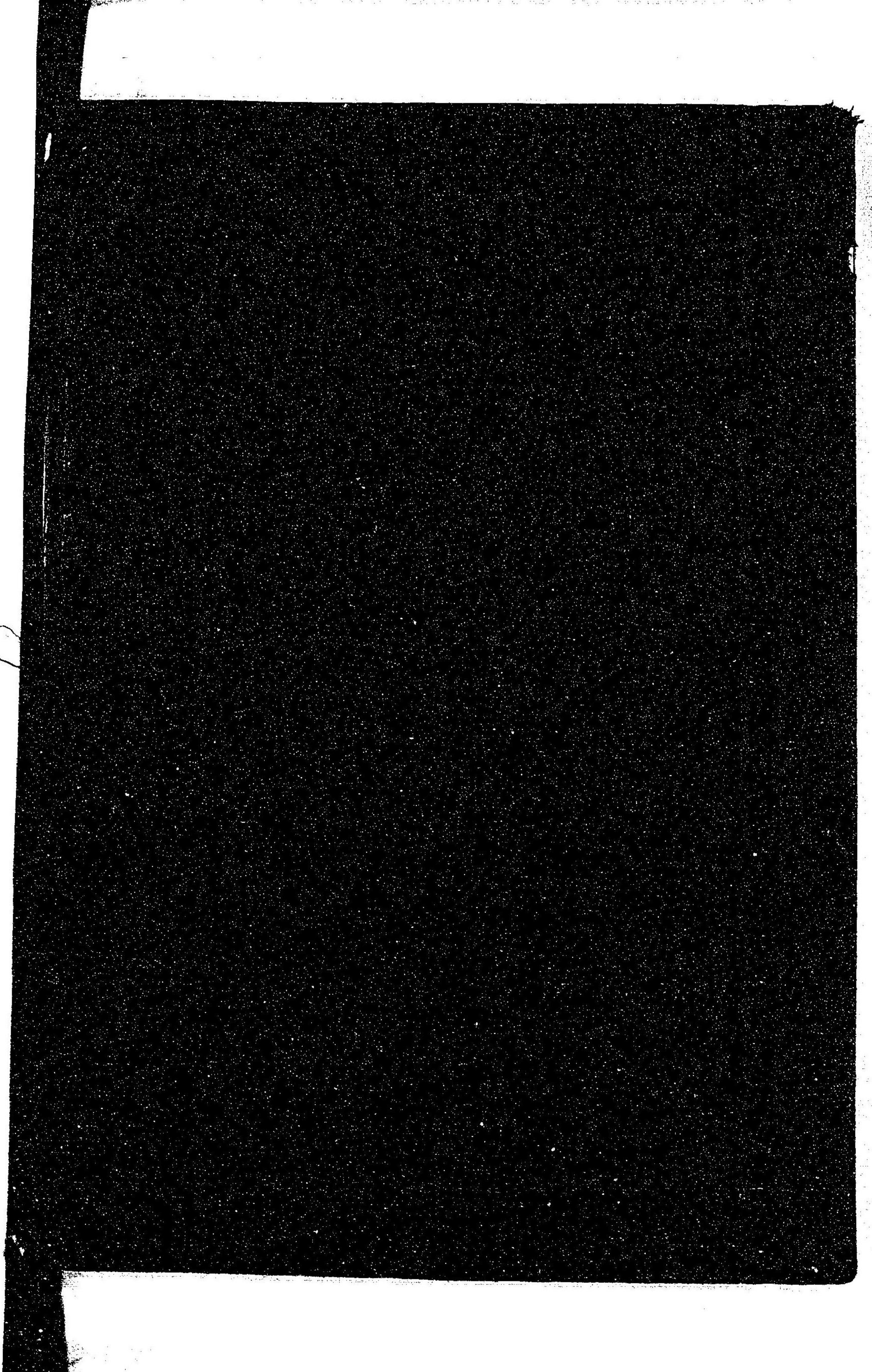
各府縣書肆

定價金壹圓二十錢











M

052962-000-7

94-224

理科辞典

理科研究会 / 編

M37

CAA-0363





